京都大学総合研究推進本部
リサーチ・アドミニストレーター（URA）
【公募要項：研究プロモーション・企画推進】

国際卓越研究大学のビジョンを実現するため、研究力強化を牽引する総合研究推進本部において、研究推進プログラムの企画・実施や研究者・研究プロジェクトの支援、各種基盤の構築に取り組む専門職、リサーチ・アドミニストレーター（URA）を募集します。

職種

特定専門業務職員(URA)

募集人員

20 名

勤務場所

京都大学総合研究推進本部（京都市左京区吉田本町、京都大学吉田キャンパス）。但し、担当業務によって、宇治または桂キャンパス勤務となる場合があります。

※ 大学が在宅勤務を許可又は命じた場合の自宅等を含みます。

※ 担当業務によっては本部・デパートメント実施のイベントへの参加や、国内および海外への出張があります。

職務内容

総合研究推進本部におけるURAの業務・支援内容は広範囲にわたりますが、本公募では、特に下記の職務のいずれか一つ以上に対し、積極的に取り組む意欲のある方を募集します。

- **研究支援・プロモーション**

    - 理工系、生命科学・医薬系、人文社会系等の専門知識を活かした、競争的研究費の獲得支援(プレアワード)、及び採択後のプロジェクト管理支援(ポストアワード)、異分野融合研究の推進、国際共同研究の推進、デパートメント運営の支援
- **研究IR（インスティテューショナル・リサーチ）**
    - 本学の研究活動情報の分析・可視化
    - 本学独自の研究評価システムCOMONの運用及び、学内組織の研究評価・研究構想の策定・推進支援
- **企画立案・共創デザイン**
    - 政策・研究動向の調査分析、学内シーズと政策ニーズの整合・プロジェクト企画
    - 学際研究推進・学内ファンドの設計運営
    - URA等の研究開発マネジメント人材の育成に関する企画・運営
- **国際連携**
    - 国際的ハブの形成(レクチャーシップアワード等の運営や若手研究者モビリティ促進)、グローバルサウス（ASEAN・インド・アフリカ）や欧米・豪州等との戦略的共同研究形成、外国人研究者支援
- **若手研究者育成**
    - 若手研究者のキャリア開発・育成プログラムの企画運営、研究者コミュニティ（メンタリング等）構築、国際展開支援。
- **研究広報**
    - 全学研究広報戦略の立案・ディレクション、研究対話イベントの企画、英語論文・書籍出版支援の展開。
- **研究推進・対外戦略**
    - 省庁・資金配分機関・産業界・他大学等との対話チャンネルの構築、国の科学技術政策・大型プログラムの動向把握
    - 大学執行部との連携による大型プロジェクトの推進・戦略立案
- **研究DX**
    - 研究DXを支える基盤・システム・サービスの整備・運用、データを活用した研究支援の高度化
    - DXの普及と人材育成
- **研究インテグリティ**
    - 研究コンプライアンス・リスクマネジメント体制（研究公正、研究倫理、研究セキュリティ、安全保障輸出管理、利益相反マネジメントなどの一部）の構築・推進

※ 本公募に記載の職務に加え、共用機器管理・研究ファシリティ整備にも関心のある方を歓迎します。これらの職務をメインとして希望される方は、【公募要項：研究ファシリティ整備】からご応募ください（重複の応募はできませんが、どちらからご応募いただいても全ての職務の希望を申告でき、それに応じて選考を行います）。

※ 担当業務は本人の適性や希望が考慮されます（応募フォームに希望業務を二つまで入力できます）。

※ URA業務に専念・専従していただく必要があります（研究活動を行うことはできません）。

※ 業務・活動等の詳細については、京都大学総合研究推進本部ウェブサイトも参照してください。KURAの研究推進戦略、コラム(活動報告など)

応募資格

(1) 学歴・学位

- **博士の学位を有する方（あるいは着任までに取得見込みの方）、または同等の専門知識・経験を有する方。**
  - 新卒の方の応募を歓迎します。（着任日までに博士の学位を取得見込みであること）
  - 研究経験や上記の学位の有無にかかわらず、研究活動の本質を理解し、研究者と円滑に連携できる方を求めます。そのため、科学技術や特定分野の学術に日頃から関心を持ち、本学の研究活動への理解につながる知識を有していることが望まれます。

(2) 専門経験

本職務の遂行に必要な専門的な知識、または研究活動への深い理解を示すものとして、以下のいずれかの経験・活動実績を持つ方を歓迎します。

- **研究マネジメント・支援**
  - 大学・研究機関・民間企業等での研究企画、R&Dマネジメント、競争的資金の申請支援または研究代表者としての採択実績。
  - 専門分野は問いません。特に、情報科学、数学、物理学、人文情報学、計算社会科学、経済学などの分野の方を歓迎します。
- **企画・プロジェクト推進**
  - 政策調査、学際・異分野融合研究の立ち上げ、新規事業やイベント・研修プログラム等の企画から実行までの推進経験。

- **国際業務**
  - 国際共同研究への参画、海外機関との交渉・調整、外国人研究者受入れ、海外留学や海外実務経験（博士研究員、特別研究員等としての研究遂行経験を含む）。
- **領域別専門経験**
  - 広報・メディア戦略のディレクション、ITシステム・デジタルツールの導入運用、データ分析・BIツール等を用いた可視化・IR実務、研究コンプライアンス（研究倫理・輸出管理等）の実務経験。
- **研究活動**
  - 自らが研究代表者またはこれに準ずる立場として研究活動を主導した経験（博士研究員、特別研究員等としての研究遂行経験を含む）。
  - 研究集会・学会・シンポジウムの企画・世話役の経験、研究室や課外活動等でのチームリーダー・事務局としての調整役の経験、国際共同研究や異分野交流への参画経験。
- **研究推進・対外戦略担当**
  - 大学・研究機関・政策立案・研究資金配分・産学連携等に関連する機関における実務経験。
  - 複数のステークホルダーとの折衝・調整の経験。
- **研究開発マネジメント人材育成**
  - 大学・研究機関・民間企業・行政・医療・NPO等での人事、人材開発、組織開発、研修、キャリア支援、採用等に関する実務経験

(3) 語学力

- 日本語：本学での業務遂行および高度な文書作成に必要な能力（**必須**）。
  日本語が母国語でない場合は、日本語能力試験（JLPT） N1保有レベルが望ましい。
- 英語：英文でのメール対応や資料の読解・作成に抵抗がなく、海外機関との連絡業務に前向きに取り組める英語力（**必須**）。海外の大学等との交渉や会議運営等が可能な英語力（歓迎）。

(4) その他の資格等

認定URA（URAスキル認定機構）の資格保有者を歓迎します。

求める人物像

上記の要件に加え、次のようなコンピテンシーを有する方を希望します。

- **【協調性とパートナーシップ】**教員、事務職員、学外関係者など多様な立場・専門性を尊重し、信頼関係を築きながら対話・調整・合意形成ができる方。チームワークを大切にしながら主体的に業務に取り組むことのできる方
- **【批判的思考と課題解決力】**複雑な課題や背景から本質を見抜き、データや事実に基づいて論理的・構造的に整理し、実行可能な解決策を提示できる方。
- **【主体性と柔軟な挑戦心】**前例にとらわれず新たな発想で業務に取り組み、変化や未知の領域に対しても柔軟かつ前向きに対応・推進できる方。
- **【誠実さと責任感】**高い倫理観と説明責任をもち、組織のミッション達成に向けて客観的かつ誠実に業務を遂行できる方。

採用予定日

令和９（2027）年４月１日（採用日については応相談）

任期

採用日から3年

※ 任期更新(最長10年)、無期雇用への転換の可能性あり。(契約の更新は、契約期間満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、従事している業務の進捗状況、経営状況等を勘案して判断する。)

試用期間

あり（6ヵ月）

勤務形態

月～金曜日 8時30分～17時15分（休憩時間12時～13時）

休日: 土日祝日、年末年始、創立記念日

※ ただし、超過勤務または休日勤務を命じる場合あり

※ フレックスタイム制あり(採用初月は適用除外の場合あり)
コアタイム: 10時～15時、フレキシブルタイム: 7時～10時、15時～22時、標準勤務時間: 7時間45分、清算期間: 1ヶ月
※ 在宅勤務制度あり

給与・手当等

本学給与支給基準に基づき能力・経歴等により決定（年俸制）
※ 年度ごとの評価で昇給・昇格の可能性あり

【採用時の参考給与】
4,800,000円～5,880,000円 (20代～30代)
5,280,000円～6,720,000円 (40代)
7,080,000円～7,560,000円 (50代～60代)

諸手当：超過勤務手当
赴任旅費：旧居所が在勤地（京都大学）から60km以上の地点からの転居を伴う場合、１回に限り支給
※ 賞与・退職手当・通勤手当・地域手当・住居手当（職員寮への入居は条件付きで可能）の支給はなし

休日

土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、創立記念日（6月18日）
休暇等：年次有給休暇※（4月1日採用20日）、ワークライフバランス休暇（3日）、夏期休暇（3日）、慶弔休暇、育児休業及び介護休業等の制度あり
※ 年次休暇：翌年度20日まで繰越可

社会保険

文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入

研修

京都大学独自の研修プログラムである「URA育成プログラム KU+」による各人に合わせた能力開発や、専門職としてのネットワーキング活動、成果発表を支援しています。

- URA業務未経験の方には次から成る初任者研修を受講いただきます。
    - 研究開発マネジメント人材 基礎力育成プログラム（基礎力育成研修（URA研修））（JST提供）Fundamentalレベル
    - KU＋（レベル１）
- その他、様々な研修プログラム等を受講いただくことにより、継続してスキルアップを図っていただきます。
- 学会等の学術団体のイベント等に参加する機会を提供しています。
- URAスキル認定機構の「認定URA」申請を奨励し、審査料を補助します。
- URAのネットワーク団体であるリサーチ・アドミニストレーション（RA）協議会等、外部の関連団体の活動への参加を奨励し、RA協議会の年会費を補助しています。

応募方法

「応募フォーム」よりご応募ください。

提出書類①については、指定の様式を使用せずに提出された場合は審査に付しません。
事前にすべて正常に印刷できることを確認の上、ご提出願います。
いずれの書類も、メール添付による提出や郵送もしくは応募者本人が直接本学に持参されても受理しませんので、応募締切に間に合うよう余裕を持って応募してください。

【提出書類】

① **履歴書等**

・指定様式をダウンロードしご使用ください。

・指定様式に記載されている注意書きに沿って作成してください。

・ファイル名は、「応募日_漢字氏名_履歴書」としてください。

（例：20261001_京大太郎_履歴書）

② **自己PR資料（様式任意）**

・パワーポイント等で、自己紹介/アピールポイント/応募した動機などをまとめた自己PR資料をA4用紙1枚で作成してください。

・ファイル名は、「応募日_漢字氏名_自己紹介」としてください。

（例：20261001_京大太郎_自己PR資料）

応募締切

令和８（2026）年 10 月 18 日（日）

選考方法

書類選考の後、１次面接選考を行い、選考通過者に対して２次面接選考を実施します。各面接選考の詳細については対象者にのみ連絡します。
2次面接選考の会場は京都大学吉田キャンパス、面接に伴う交通費は自己負担となります。
なお、選考結果に対する問い合わせには応じられません。

【選考日程】

1次面接選考（オンライン）：

令和８（2026）年 11月 9日（月）～ 11月20日 （金） 9:00～18:00 （約30分）

2次面接選考（対面）：

令和８（2026）年 11月 30日（月）～ 12月11日（金）9:00～18:00の間 （約40分）

問合せ先

京都大学 総合研究推進本部(KURA)

TEL: 075-753-5586

なるべく問い合わせフォームからお問い合わせください。

その他

- 提出していただいた書類は、採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承願います。
- 採用決定後、または採用後に、応募書類の記載事項に虚偽があることや、応募資格を満たさないことが判明した場合には、採用内定の取り消し、または採用の取り消しを行うことがあります。
- 本学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- 本学は、「京都大学DEIB推進宣言」において、性別、国籍、世代、身体的特性や、宗教、性的指向など、異なる視点や経験を持った多様な人を受け入れ、違いに応じた適切な支援（Diversity & Equity）と、個性と能力を存分に発揮できる環境（Inclusion）の整備に力を注ぎ、さらに、構成員が、自らのアイデンティティの一部として大学に愛着と誇りをもてる共創的なコミュニティ（Belonging）を目指すことを旨としています。（京都大学DEIB特設サイト：https://www.deib.cwr.kyoto-u.ac.jp/　参照）
- 教職員・学生のウェルビーイングの一環として開設された学童保育所「京都大学キッズコミュニティKuSuKu」では、インクルーシブかつSDGsに資する環境で、京都大学の研究リソースを活用した魅力ある教育プログラムを提供し、子どもたちが好奇心や探究心を育む場を提供しています。（京都大学男女共同参画推進センター：https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/care/community/　参照）
- 京都大学男女共同参画推進センター病児保育室「こもも」では、京都大学医学部附属病院と連携し、京都大学教職員・学生の子どもを対象に、病児および病後児の保育ができる環境を提供しています。（京都大学男女共同参画推進センター：https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/support/care/sick/　参照）